



少し緊張した表情で入学式に臨む中西さん（中央）

決意を胸に第一歩

■静岡県中部看護専門学校入学式

本市と藤枝市、焼津市、吉田町が運営する県中部看護専門学校の入学式は4月10日、同校講堂で行われました。

原宏介校長は「初心を忘れず、思いやりのある温かな心と強い精神力を養ってください」と激励。

今年度の入学者は40人で、本市からは中西晴香さん（川崎区）が入学。「祖母や叔母のように、技術だけでなく思いやりの心を持った看護師になって、榛原病院で働きたい」と語ってくれました。生徒は3年間、看護の理念や技術を学びます。

満開の桜を満喫

■勝間田川さくらまつり

約1,500本のソメイヨシノが両岸を彩る勝間田川沿いで、4月7日・8日、「さくらまつり」が開催されました。

会場には、地元町内有志の皆さんによる恒例の模擬店や静岡牧之原茶を振る舞う「お茶カフェ」が並んだほか、はいばら太鼓保存会による和太鼓の演奏やカラオケ愛好家による歌声が披露されるなど、祭り気分を盛り上げました。

市内外から訪れた大勢の見物客は、満開の桜のトンネルの下を散策しながら花見を楽しみました。



大勢の花見客で賑わう会場

初夏の香りを一足先に楽しむ

■お茶摘み体験／坂部保育園

農事組合法人さかぐち青年部（天関博之部長）が主催するお茶摘み体験が4月20日、坂部地区の茶畑で坂部保育園の4・5歳児園児22人を迎えて行われました。

新茶時季を迎え、地域の基幹産業であるお茶の摘み採りを通して子どもたちに農業の楽しさを知ってもらおうと青年部が企画。同部員から手摘みの手ほどきを受けた後、茶娘などの姿に扮した園児らは、みずみずしいもえぎ色の新芽を丁寧に摘み採りました。



かすりの着物姿で楽しそうに茶摘みをする園児ら



勝間田城侍ソーランを披露する勝間田小の児童ら

赤紫色の花に負けない我らの舞

■勝間田公園つつじ祭り

勝間田区主催の勝間田公園つつじ祭りが4月15日、県天然記念物「コバノミツバツツジ」が群生する同公園で開かれました。

「ミヤマツツジ」の名称で住民に親しまれているコバノミツバツツジは、同公園にある三栗山に約1万本が自生。山頂付近では赤紫色の小さな花が咲き、散策する人の目を楽しませました。会場では、神事後に勝間田小5・6年生児童有志による侍ソーランや市内ダンスグループによる踊りなどが披露され、大勢の家族連れで賑わいました。



厳かに神事が執り行なわれ、出席者全員で施設の無事完成を祈願した

相良地域の安全安心を守る拠点に

■市相良消防庁舎建設工事起工式

市は4月23日、波津の（仮称）相良消防署建設予定地で相良消防庁舎建設工事の起工式を行いました。

静岡地域消防救急業務の広域化に伴い、平成25年4月からの運用開始を予定している同庁舎は、鉄筋コンクリート造2階建て、車庫棟や鉄骨造5階建ての訓練棟などのほか、消防団が夜間にも訓練可能なように、訓練スペースも整備されます。

式には、市長や市議会議員、各区長、地権者や近隣住民、工事関係者など約80人が出席。神事後、出席者全員で静岡牧之原茶による乾杯を行い、工事の安全を祈りました。

同庁舎は今年の12月に完成する予定です。

世界レベルの技を肌で実感

■中国企業とのバドミントン交流／榛原高等学校

榛原高等学校バドミントン部は4月7日、同校講堂で中国浙江省から訪れた企業の社員とバドミントン親善交流会を行いました。

訪れたのは、通信部品製造会社のバドミントン同好会員ら12人。昨年の秋に、市が訪中団を同省杭州市に派遣したことを機に来日。同会員の中には元世界王者もおり、高校生は世界レベルの技を肌で感じ取っていました。

交流会には同校の部員のほか、市体育協会会員も参加し、試合を通じて互いに交流を深めました。



試合前に全員で記念撮影



新入団員を代表して辞令を受ける第11分団の大石卓己団員

地域防災へ一致団結

■平成24年度牧之原市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月1日、静波体育館で行われ、新たに57人が入団しました。

西原市長は「身近な火災や事故、災害などどんな場合でも冷静に対処して、自らがケガなどをせずに人命救助に当たって欲しい」と訓示。新たに団長になった鈴木雅志団長は、「大震災を教訓に、日々の訓練に精進して、市民の安全安心を確保してもらいたい」と呼び掛けました。

式終了後、新入団員らは幹部団員から団員としての心構えを受け、規律訓練を実施しました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎ (23) 0052 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp